



# 鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第38号

2008年3月17日

----- 平成21年度年次総会研究発表・シンポジウムの概要決まる -----

5月16日(土)・17日(日)に白山比咩神社で  
テーマは「歴史的風致と社叢」、上田篤副理事長の特別講演も

----- 今年も内容盛り沢山！ 奮ってご参加ください！ -----

今年の年次総会・研究発表界・シンポジウムは5月17日(日)に白山比咩神社(石川県白山市)参集殿で開催される。概要は別紙の通りで、今回のシンポジウムのテーマは、金沢市が歴史まちづくり法による、第1号「歴史都市」に認定されたことから、美しい風致の都市で社叢が果たしてきた、また果たすべき役割について議論する。

開催地、白山比咩神社は白山信仰の中心地で、ご祭神である白山比咩大神は、日本書紀に一度だけ登場する謎を秘めた女神・菊理媛尊(くくりひめのみこと)と同一神とされている。大きく日本海に広がる扇状地の要の位置にあり、付近には、縄文時代後・晩期の集落跡で、直径約80cmほどのクリの木を縦に半分に割った巨大な木柱を直径約7mの環状に立て並べた環状木柱列が発見されたチカモリ遺跡がある。歴史的にも地形的にも興味深い地域での総会開催を記念し、上田篤副理事長がこの地域の「謎」に迫る特別講演も行う。

総会に先立つ16日(土)にはチカモリ遺跡や白山比咩神社社叢、県の樹木公園などを見学する見学会も実施する。車中では上田副理事長が、手取川扇状地の地形形成などについて解説する予定。見学会終了後には恒例の懇親会も開催する。

なお、正会員で総会にご欠席の方は必ず委任状をお送りください。

## 3名の社叢インストラクターが誕生

第2回社叢インストラクター資格認定試験が2月22日(日)に賀茂御祖神社(下賀茂神社)で実施され、認定に挑んだ3名が十分な技量・知識・意欲を認められ、3月6日に開催された第23回理事会で資格を認定された。

今回受験したのは第3回までの社叢インストラクター養成セミナー修了者で、一様に地域でさまざまな経験を積んでいる。口頭試問では、新木直人・宮司(社叢学会顧問)にも加わっていただき、実際に社叢管理に腐心する立場から、受験者の社叢管理への心構えなど

が質された。筆記試験問題は4頁に掲載。

試験終了後、試験委員が合否判定原案を作成、3月6日開催の理事会で全員の合格を認めた。合格者には年次総会で理事長より認定証が手渡される。

合格者は以下の通り(順不同・敬称略)：橋本完(正会員)、渡邊規矩郎(正会員)、川村道哉(市民会員)

当日の試験委員：菅沼孝之副理事長、武田義明理事、渡辺弘之理事、新木直人顧問。



## 森林の癒し効果

### 一森林セラピー、予防医学と地域振興

話題提供：香川 隆英（森林総合研究所環境計画研究室長）  
 コメンテータ：奥富 清（社叢学会副理事長）

日本は国土の約7割を森が占める森の国。森林総合研究所は、この日本の国土を覆う森を知り、森を守り、活かすために、森林を総合的に研究する研究機関である。北海道から九州沖縄まで全国的なネットワークを使って、亜寒帯林から温帯林、暖帯林、そして亜熱帯林まで、日本の森林を研究している。

本発表は「森林の癒し効果」について「森林セラピー」という立場から、森林が人の体に及ぼすプラスの影響について科学的に計量的に、あるいは医学的に研究した成果の分析である。「森林セラピー」という語は、1982年に当時の林野庁などによって提唱された。森林に接する森林浴という行為から精神的な安らぎを求め、その効果を科学的に検証し、予防医学的に役立てようという取り組みから使われるようになった。現代のストレス社会、人工空間・屋内生活中心→生活習慣病、メタボ、躁鬱、引きこもりという悪循環を断ち切り→森林浴で五感を解放して、リラックス・わくわく→そして住民の予防医学、都市交流の地域活性化という循環を考えている。

森林浴は長野県の赤沢自然休養所が発祥地とされている。2004年以降、林野庁・厚生労働省・各研究機関や大学などが「森林セラピー研究会」を組織して研究を進めている。これまで森林の効果は科学的なものより精神的なものが大きいといわれており、学会や論文でもまだ科学的効能としてはっきりとした発表、証明がされていないため、森林セラピーにより病気を治療するということまでには言えないが、科学的効能としては樹木が発散するフィトンチッドという成分やマイナスイオンが精神を落ち着かせ、また最近の研究ではガン細胞を防ぐNK（ナチュラルキラー）細胞が増えるという結果も実証されてきている。リラックスし免疫機能を高めるといふ、病気になりにくい予防的効果としての森林セラピーが期待されている。

森林セラピー効果の科学的測定の指標として①副交感神経活動（心拍のゆらぎ分析）、②交感神経活動（心拍のゆらぎ分析）、③最高血圧、④最低血圧、⑤心拍数、⑥コルチゾール濃度（ストレスホルモン）、⑦

アミラーゼ（ストレス酵素）を森林内の散歩と都会の雑踏の散歩とを実測・比較することで、森林内散歩の優位性を検証し、森林セラピーの生理的効果の科学的解明の研究を進めている。森林がもたらす人の生理的効果の解明では、ストレス状態にある大手企業の男性社員12名に長野県の森林セラピー基地で森林浴をしてもらい森林浴の前後にNK細胞の機能が活性化するかを採血、採尿によって調べ、また脳波測定、唾液中ストレスホルモンの濃度、心拍数の変動なども調べている。この実験では2泊3日の滞在でNK細胞の機能が向上したことが確認され、抗ガンたんぱく質の濃度も上昇していることが確認された。さらに名古屋市（都市部）への旅行と対照実験もされたが、都市部での2泊3日の滞在はNK細胞活性に変化が見られなかった。さらに、森林浴の方は30日後もNK細胞活性が継続していることが確認され、森林と接することによる、健康の持続効果が証明された。

こうした結果は森林セラピーの実施地の選定などに利用され、「心身の改善効果をもたらすことが科学的に証明された森」として発表されている。セラピー候補森林では、リラックスしたときに高まる副交感神経活動が都市部に比べて上昇し、ストレス時に高まる交感神経活動が抑制されることや、ストレスホルモンである唾液中のコルチゾール濃度が低下することが実証されている。人が入りやすいように森を整え、セラピー基地整備を促すことによって森が再生され、地域は活性化する。まずは人の歩く道を作り森の空間、空気に親しんでもらい、その中で心の健康、体の健康につなげてゆく。日本における森林浴発祥の地とされている長野県木曾郡上松町にある国有林赤沢自然休養林は、伊勢神宮の御神木・建築用材を産出する森林地で、神宮式年遷宮御杣始祭で話題となった。神宮式年遷宮は20年に一度の命の更新という意味を持つ。全国35ヶ所に森林セラピー基地・ロードが指定されていて、森を活用し都会の人々の心と身体を健康に保ち、人が訪れることによる地域の活性化にも繋げていこうという取組を行っている。（文責：大畑 孝子）

## 次回予告【第35回関西定例研究会】

- ◆日時：2009年4月25日（土） 14:00～17:00
- ◆場所：國學院大学・渋谷キャンパス 120周年記念1号館2階 1205教室※  
（東京都渋谷区東4-10-28）（※教室は変更の可能性あり）
- ◆テーマ：日本の気候と森づくり
- ◆講師：濱野周泰（社叢学会理事・東京農業大学教授）
- ◆コメンテータ：坂本 新太郎（社叢学会理事・国際造園研究センター副理事長）



# 平成21年度年次総会の概要

懇親会・エクスカージョンに参加ご希望の節は、準備の都合上、5月7日(必着)にて、下欄ご記入の上、FAXもしくは郵便にてお送りいただくか、同内容をMailにてお知らせください。

	時 間	時間・講師
5月 16日 (土) 見学会	11:00	金沢駅集合・出発(小松空港での乗車も可)
	12:00~	昼食(川魚料理を予定)
	13:00~	白山比咩神社正式参拝の後、白山比咩神社社叢、樹木公園、チカモリ遺跡 等を見学
	16:30ごろ	金沢駅着
	18:30~20:00	懇親会(希望者 1人4,000円) 於 ホテル キャッスルイン金沢
17日 (日) 総会・ 研究発表・ シンポジウム	8:30	金沢駅集合・出発
	9:30~10:15	年次総会
	10:20~12:15	研究発表
		昼 食
	13:00~13:30	特別講演 越の国の中になぜ加賀か? 社叢学会副理事長 上 田 篤
	13:30~16:00	シンポジウム「歴史的風致と社叢」
	13:30~14:30 14:45~16:00	基 調 講 演 パネルディスカッション
16:30	白山比咩神社出発(17:30ごろ金沢駅にて解散、小松空港下車も可)	

----- 研究発表・シンポジウムと関連行事参加申込書 -----

FAX: 075-212-2916

\* ご希望の行事の( ) 欄に○をおつけ下さい。同伴者がいらっしゃる場合は人数をお書き下さい。

- ( ) 研究発表およびシンポジウム(非会員は1人500円) : 同伴 人
- ( ) 懇親会(1人4,000円(同伴者1人まで同料金 2人目からは1人4,500円)) : 同伴 人
- ( ) 白山比咩神社社叢、チカモリ遺跡等見学  
(1人8,000円(昼食費込) 同伴者1人まで同料金 2人目からは1人8,500円) : 同伴 人
- ( ) 専用バス(17日(日)): 金沢駅→白山比咩神社→金沢駅) 乗車(1人1,500円) : 同伴 人

会員番号

お名前

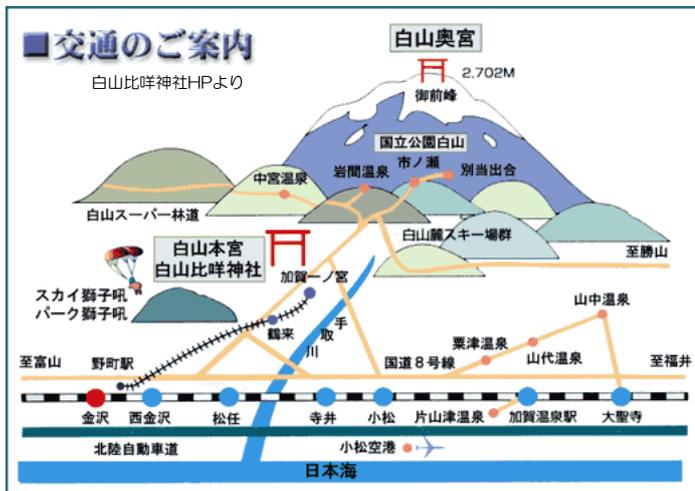
電話番号・FAX番号・Mailアドレス等連絡先

# 白山比咩神社とその周辺

白山比咩神社（石川県白山市三宮町）は、白山の麓に鎮座する加賀の国一の宮。祭神は白山比咩大神（菊理媛尊）・伊弉諾尊・伊弉冉尊。崇神天皇の7年に手取川扇状地帯の要に位置する舟岡山山頂に、祀られた神祠が、白山比咩神社の始まりと伝えられている。717年（養老1）に越前の僧泰澄が霊夢によって白山に登拝し、翌年、山頂に奥宮を祀って以来、白山信仰が急速に広まりを見せ、白山比咩神社もその中心として栄えた。戦国時代には一時衰退したが、江戸時代に加賀藩主前田利家の庇護によって復興した。白山信仰の歴史を伝える『白山縁起』などの貴重な資料のほか、前田家奉納の豪華な工芸品を所蔵している。

祭神・白山比咩大神は菊理媛尊と同一神とされているが、菊理媛尊は『日本書紀』だけにただ1度だけ登場する謎めいた存在で、伊弉諾尊と伊弉冉尊の言い争いを仲裁したといわれることから、和合の神としても篤い崇敬を受けている。

白山は信仰の山ではあるが、一方で高山植物の宝庫としても知られている。ハクサンコザクラ・ハクサンイチゲなど、白山の名を冠した花も多くある。また、富山城主・佐々家の滅亡に関わったとされるクロコリの群落も見られる。



## 見学予定地

- ・樹木公園：石川県林業試験場内に広がる広大な公園。芝生広場を中心に、郷土の森・花木園・針葉樹林・常緑広葉樹・落葉広葉樹・桜椿園・日本庭園などが配され、800種1万5千本におよぶ樹木が植えられている。併設の展示館では、石川県の森林の生態や林業に関する資料が見学できる。
- ・チカモリ遺跡：金沢市西南部の縄文時代後・晩期の集落遺跡。1980年（昭和55）に巨大なクリの木の環状木柱列が発見された。現在は史跡公園として整備され、復元した木柱が環状に立てられ、当時の様子が再現されている。公園横の金沢市埋蔵文化財収蔵庫には、出土した木柱根が保存展示されている。

## 第2回鎮守の森フォトコンテスト作品募集

今度は春の森を撮ってください。ご自慢の神社のご自慢の1枚をお待ちしています！作品は白山比咩神社での総会で展示するほか、各地の定例研究会でも展示いたします。詳細は『社叢学研究』7号96頁をご覧ください。

締切：2009年4月末日

送り先：〒464-0083 名古屋市千種区北千種2-1-10

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 岡村研究室

問合せ：Tel.052-721-3209 Fax.052-721-3110

E-Mail okamura@sda.nagoya-cu.ac.jp

## 次回予告【第35回関西定例研究会】

- ◆日時：2009年3月28日（土） 13:30～15:30
- ◆場所：伏見稲荷大社儀式殿（京都市伏見区藪之内町68 Tel.075-641-7331）
- ◆テーマ：社叢の樹木が枯れる ～カシノナガキクイムシ、その生態と被害防除
- ◆話題提供：小林 正秀（京都府立大学大学院農学研究科特別講師）
- ◆コメンテータ：渡辺 弘之（社叢学会理事・京都大学名誉教授）

※ 13時より稲荷山のナラ枯れ被害状況を見学いたします。参加ご希望の方は、13時までに本殿横の休憩室にご集合ください。



# 第2回社叢インストラクター資格認定試験問題



2009年2月22日 賀茂御祖神社にて実施

**筆記試験Ⅰ【10:00～11:00】**：下記のうち1題を選択し、1,500字程度で記述（課題は事前に提示）配点=50

問題1：社叢は小面積で孤立した森林が多い、特に都市域では周辺の緑地とも切り離されている。このような社叢を保全する上での注意点を挙げなさい。

問題2：原生林（原始林）、天然林、天然生林、二次林、自然林、人工林という用語の使い方について、違いがわかるように述べなさい。

**筆記試験Ⅱ【11:10～12:10】** 配点=150

問題1 配点20点

次の文章を読み、（ ）の中の最も適切と思われる語句を一つ選び、記号に○をつけなさい。

日本に水田農業が伝来したのは、議論はあるもののほぼ1（A・紀元前10世紀ころ B・紀元前4, 3世紀ころ C・紀元前後 D・紀元2, 3世紀ころ）と考えられる。このころの社叢の姿については、神社の存在ともあわせて不明なところが多いが、少なくとも水田の可能なところは水田となり、その間に社叢が点在するという景観が成立した。

ただ「野」などと呼ばれた高燥地にまで水田が進出するのはもう少し時代が経ってからで、それは朝鮮半島から渡来してきた渡来人、京都でいえば2（A・秦氏 B・漢氏 C・高麗氏<貊氏> D・坂上氏）の影響が強い。この氏族は現在の韓国の東部にあたる新羅国をいわば母国とするが、先進的な土木・灌漑技術をもたらし、水がかりの悪い高燥地の開発に成功したのであって、畑作の可能な所は畑地、水田の可能な所は水田となり、社叢をめぐる新たな地域景観ができあがったといっていよう。

こうした社叢のありようを大きく変えたのは、3（A・条坊制 B・都城制 C・条里制 D・荘園制）の施行である。不規則な農地のなかに、神社のモリがごく自然に点在するという景観はほとんど消滅し、一辺をほぼ4（A・50メートル B・120メートル C・150メートル D・200メートル）とする農地の碁盤目状の土地区画が全国におよんだ。正確なその時代は確定できないが、これによっていっそう社叢の在り方は際立つことになり、人工的な農地区画のなかに、社叢があたかも浮島のごとくに原始のモリの姿を呈するようになった。

問題2 配点40点

西日本の平地には常緑樹を主とした社叢がみられます。この地域で社叢のようなふるさとの森を造成するにあたって、適するものに○をつけなさい。

イチイガシ（ ） クロガネモチ（ ） サワグルミ（ ） シラカシ（ ） タブノキ（ ）  
 コジイ(ツブラジイ)（ ） サカキ（ ） クロマツ（ ） シュロ（ ） キョウチクトウ（ ）  
 ヤマザクラ（ ） ムクノキ（ ） ミズナラ（ ） カナメモチ（ ） イチョウ（ ）  
 カシワ（ ） ケヤキ（ ） モウソウチク（ ） ヤブツバキ（ ） クスノキ（ ）

問題3 配点30点

上記の樹種のなかから、社叢に侵入した場合、困るものをひとつ選び、その種の問題点とどのように管理していくのが望ましいかを簡潔に述べなさい。

種名（ ） 問題点と望ましい管理方法（ ）

問題4 配点30点

土地の人から世界大戦前後には、このあたりの山林ではよくマツタケが採れた。ということを知ることがありますが、この山林を正確にあらわしている文には（ ）に○を、あてはまらないものには×を、これだけではどちらともいえない場合は、△を記入しなさい。

- ア. この山林は植物群落の遷移系列上の一相である（ ）
- イ. 鎮守の森に普通に見られる林相である（ ）
- ウ. マツタケがとれるアカマツ林の高さは低木層の高さを出ない（ ）
- エ. この種の山林にはツツジ科の植物がよく生育している（ ）
- オ. 構成する樹種との量の違いから落葉広葉樹林と呼ばれることがある（ ）
- カ. マツタケを沢山採ろうとするためには、人手による山林の管理が必要である（ ）

問題5 配点10点

次の説明文の（ ）内に適当な言葉を下段から選んで記入しなさい。

- ・アカマツ植林では、アカマツは適湿で肥沃な場所で最もよく成長する（ ）
- ・尾根筋などの乾燥した痩せ地ではアカマツ林が優占し、生育する（ ）
- ・生態的最適域 ・生理的最適域 ・生物的最適域

問題6 配点20点

（ ）内に適当な文言を記入しなさい。

- ・平安時代の法典である「延喜式」の「神名帳」に記された神社を（ ）社という
- ・史跡・名勝・天然記念物等を指定し、森や環境を守る法律を（ ）法という
- ・森の縁にあって、その森を覆い被さるように発達した植物群落を（ ）群落といい、上記の植物群落の根本にあたる部分に広がり、森を強い風や光から守っている植物群落を（ ）群落という

## 社叢インストラクター・クラブ発足 情報交換と技量向上の場に

第1回は白山比咩神社で

社叢インストラクターの情報交換と、管理技術の研鑽を目的とした「社叢インストラクター・クラブ」が発足することになった。

2回目の資格認定試験が終わり、特別認定者も含めると20人近い社叢インストラクターが各地で活動することになる。社叢インストラクターは、セミナーを受講し、試験に合格したとはいえ、社叢を取り巻く状況は年々変化し、新しい情報を常に吸収しなければ、適正な管理は望めない。また、他の社叢インストラクターがどのような活動をしているかを知ることによって、新たな活動への意欲を得ることもできる。

こうした観点から、社叢インストラクターに、養成セミナー受講者を含めた社叢インストラクター・クラブの設置が求められてきたが、このほど、理事会で了承された。

初回は、甚大なナラ枯れ被害を受けている白山比咩神社社叢の管理と修復計画の作成に取り組み、成果を研究発表会で発表してもらうこととし、社叢インストラクターとしての技量を向上させる格好の機会となる。今後、メンバーの意見を聞きながら、どのような活動を進めていくかを検討していくこととしている。

### 今年の社叢インストラクター養成セミナーは 名古屋で開催

これまで近畿地方で開催されてきた社叢インストラクター養成セミナーを、2009年は名古屋を中心とした中部地方で開催することになった。日時等は未定だが、例年通り、7～9月にⅠ期を、11月にⅡ期を開催する予定。

今年もⅠ期は合宿でみっちり学んでいただく予定で、目下、開催場所の選定などに入っている。内容は例年通りで、植生調査の仕方や、森の記述の仕方などを学ぶほか、社叢見学も行う。また、社叢の歴史的背景についての講義もあり、樹木医や森林インストラクターなどを養成する講座などとは一味違った知識を得ることができる。

講師はいずれも一流の専門家で、10名程度の受講者をきめ細かく指導する贅沢なセミナーといえるだろう。

- 年次総会は別記のとおりです。例年通り研究発表者を募集しております。奮ってご応募下さい。謎を秘めた白山比咩神社での開催です。多数のご参加をお待ちいたしております。
- 会誌『社叢研究』第7号を同封いたしました。いずれも会員諸氏の力作ぞろいです。ご一読の上、ご感想などお聞かせ頂ければ幸いです。
- 地球環境基金の助成金で作成いたしました社叢管理の入門パンフレットを同封いたしました。簡単な内容ですが、社叢管理に欠かせない視点を紹介しております。ヴォランティア仲間や氏子さん等に配布なさるなど、ご入用の節は、事務局までお知らせ下さい。

## 編集後記

発行が遅いじゃないか！とお腹立ちの方もいらっしゃるかもしれませんが。。。会誌の出来上がりが遅れたからでも！、パンフレットの出来上がりが遅れたからでも！、フジオカがサボっていたからでも(タブン。。。)ありません！！

ひとえに、総会の内容の理事会での承認を待っていたからなのだ！ その理事会(けっっしてジジ会などとは申しません、口が腐っても!)、今年5月の総会の相談をしていたはずが、いつの間にか来年のハナシ(ちなみに来年は建都1300年を迎える奈良での開催デス)になっているではないかっ！ オニさんが大笑いするじゃん、今年のを決めてからにしてよと一喝！(誰がってワタシですよ、そんなカミをも恐れぬことをするのは!) 地獄落ちなんかしたらどうしてくれる。夜も眠れないよ(ヒルネするんだけどね。。。)。(藤岡 郁)

### お詫びと訂正

『社叢学研究』第7号35頁下段8行目の「独立の拝殿」は、「独立の神殿」の誤りです。また、表紙裏の顧問・役員名簿で名誉顧問「千宗室」(裏千家前家元)は「千玄室」の誤りです。誠に申し訳ありませんでした。お詫びの上、訂正いたします。

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115 京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号  
TEL 075-212-2973 FAX 075-212-2916  
URL <http://www2.odn.ne.jp/shasou/> E-Mail [shasou@ams.odn.ne.jp](mailto:shasou@ams.odn.ne.jp)  
社叢学会関東支部 〒141-0031 東京都品川区西五反田2-10-8-415  
TEL 03-5875-8423 FAX 03-5875-8321 E-Mail [shasou@macrovision.co.jp](mailto:shasou@macrovision.co.jp)